

オオイヌノフグリ と タチイヌノフグリ

オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリどちらもヨーロッパ原産の帰化植物で、明治の初め頃東京で発見され、急激に全国へ広がりました。

富士市では、戦前にはオオイヌノフグリが目立っていましたが、今ではタチイヌノフグリが増加し、オオイヌノフグリは市街地ではあまり見られなくなりました。

この仲間の帰化植物にはフラサバソウがありますが、富士市では一部地域で見られるだけです。

また、在来種のイヌノフグリは昭和30年代に見られたのを最後に、市内では絶滅したと考えられます。

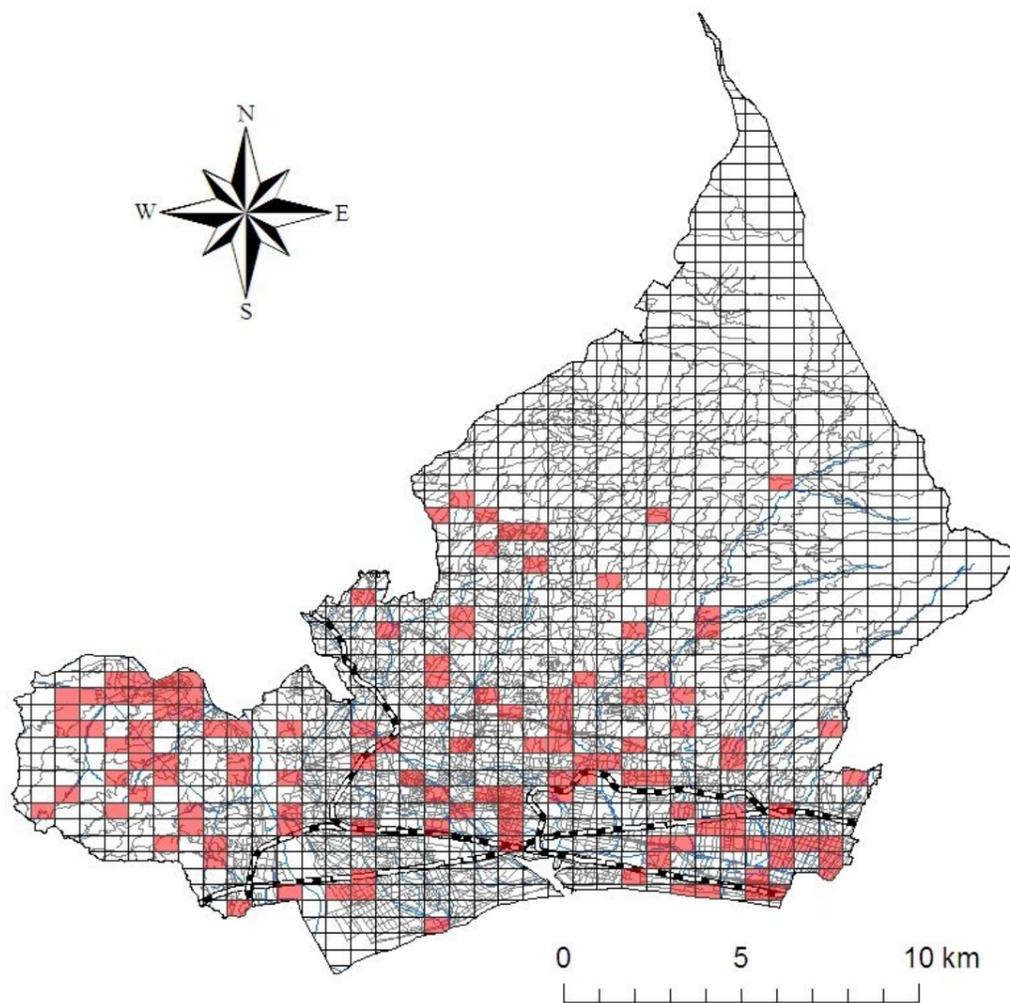
オオイヌノフグリ



タチイヌノフグリ



オオイヌノフグリを確認したメッシュ



タチイヌノフグリを確認したメッシュ

